



#### ④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆市東部地区の工業用地創出に向け、関係機関と協議した。	H27.4～	23 回
	◆養鶏業に関する意向調査結果を対象者に報告した。	H27.4～	14 名
	◆市北部地区の整備構想策定業務委託を専門業者に発注し、土地所有者に対する意向調査や概算事業費等の算出を実施した。	H27.7～	63 名
	◆愛知県企業庁が市東部地区の開発を公表した。	H28.3	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★市東部地区の事業スケジュールを関係者や市内の金融機関に情報提供した。		
進捗状況	市東部地区の地権者との調整に膨大な時間を要したが、その他は、概ね順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆市東部地区の開発事業者が決定した。 ☆市北部地区の土地所有者のお考えやご意向を把握することができた。 ☆市北部地区の概算事業費等を算出することができた。		

#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 市東部地区の工業用地の創出</u> ・市東部地区の開発事業者が決定したことから、造成工事の着手に向けた調整が急務である。	・造成工事の早期着手に向け、関係機関とより一層の連携を図る。
<u>(2) 市北部地区の工業用地の創出</u> ・近年、投資意欲の高い企業が増えてきたことから、これらの投資意欲を促す、次なる工業用地の確保が急務である。	・企業の投資意欲の高い時期を逸さないためにも、市北部地区の工業用地の創出に向けた早期事業着手を目指し、関係機関と協議・調整を実施する。
<u>(3) 変化する企業ニーズの把握</u> ・企業の設備投資は、企業を取り巻く経済情勢によって大きく左右される傾向があることから、企業との情報交換の機会を創出することが重要である。	・変化する企業ニーズ、景気動向や投資意欲を把握するため、企業訪問を実施する。

#### ⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆市東部地区の工業用地の創出に向け、愛知県企業庁と造成工事の着手に向けた協議・調整を実施する。	H28.12
	◆市北部地区の工業用地の創出に向け、関係機関と協議・調整を実施する。	H29.3
	◆企業の景気動向や投資意欲を把握するため、企業訪問を実施する。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	市東部地区や市北部地区の進捗状況を、関係者や市内の金融機関に情報提供し、企業のニーズを把握する。	

特記事項